

ラテンアメリカ講座 受講生セミナー

都市を反射する文学

ブエノスアイレスとRoberto Arlt



発表者:高際 裕哉氏(本講座受講生)
東京外国語大学大学院博士課程在学
ラテンアメリカ文学専攻

20世紀初頭のブエノスアイレスといえば、タンゴとボルヘスによって語られがちである。今回は、日本ではいまだ知られざる作家にとどまるRoberto Arltを通じ、従来とは異なる視覚から1920-1930年代のブエノスアイレス像に迫る。

ブラジル2004 vs. ブラジル2013

どう変わった?なぜ変わった?

発表者:西岡 勝樹氏(本講座受講生)
三菱日立パワーシステムズ(株)勤務
2004年から2013年までブラジル駐在

ブラジルはこの10年で大きな変貌を遂げたと言われる。報告者が観察し得た10年間、「2004年のブラジル」と「2013年のブラジル」では何がどう変わったのか?なぜ変わったのか?政治、経済、社会を切り口に10年の変化を解き明かしていきたい。



入場無料・予約不要

日時:2014年6月21日(土)16:45~18:30

会場:立教大学池袋キャンパス本館1202教室

問合せ:立教大学ラテンアメリカ研究所
〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 (池袋駅西口徒歩7分)

TEL 03-3985-2578 late-ken@rikkyo.ac.jp

詳細はWebsite <http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ILAS/>